

「北海道・北東北の縄文遺跡群」について

【名称】「北海道・北東北の縄文遺跡群」

【構成資産】

北海道：入江貝塚^{いりえ}，大船遺跡^{おおふね}，垣ノ島遺跡^{かきのしま}，キウス周堤墓群^{しゅうてい ぼぐん}，
北黄金貝塚^{きたこがね}，高砂貝塚^{たかさご}

青森県：大平山元遺跡^{おおだいやまもと}，大森勝山遺跡^{おおもりかつやま}，亀ヶ岡石器時代遺跡^{かめがおか}，
小牧野遺跡^{こまきの}，是川石器時代遺跡^{これかわ}，三内丸山遺跡^{さんないまるやま}，
田小屋野貝塚^{たごやの}，二ツ森貝塚^{ふたつもり}

岩手県：御所野遺跡^{ごしよの}

秋田県：伊勢堂岱遺跡^{いせどうたい}，大湯環状列石^{おおゆ かんじょうれつせき}

【概要】

東北アジアの多様な地理的・自然的環境において，採集・漁労・狩猟を基盤に1万年以上前から定住が開始，発展，成熟し，長期間継続した先史文化の生活や祭祀・儀礼のあり方を示す17の考古学的遺跡からなる資産。

【暫定一覧表記載年】平成21（2009）年



北黄金貝塚



三内丸山遺跡



御所野遺跡



大湯環状列石